

愛媛県東宇和郡宇和町鳥坂地区の放射能強度について

塚 脇 祐 次*

On the Radioactive Intensity in the Tosaka Area, Uwa-cho,
Higashi-Uwa-gun, Ehime Prefecture

By

Yūji TSUKAWAKI

Abstract

The Tosaka area and its vicinity, Uwa-cho, Higashi-Uwa-gun, Ehime Prefecture consist of sandstone, clayslate and lenticular chert.

A maximum intensity of radioactivity of these sediment beds is only 1.9 times the background count.

要 旨

愛媛県東宇和郡宇和町鳥坂地区において、放射能強度に異常があるとの情報を得たため調査研究を実施したが、著しい放射能の異常はみとめられなかった。

1. 緒 言

この地域のウラン情報については、金・銀・銅・硫化鉄・マンガン・ウランの鉱種名にて試掘権を設定している鉱業権者加藤雅敏氏（愛媛県八幡浜市1471）から得たもので、昭和46年度核原料資源調査研究の一環としてその放射能強度の異常について調査研究を実施した。

調査に際しては鉱業権者加藤雅敏氏に現地の案内など種々協力を得た。稿を草するに当たって感謝の意を表す。

2. 位 置

調査地域は愛媛県東宇和郡宇和町鳥坂、予讃線八幡浜駅の東南東約 20 km に位置する。

3. 地 質

この付近の地質は広く二畳紀～石炭紀に対比される秩父帯上部古生層の地層が発達し、砂岩および粘板岩層を主とし、レンズ状のチャート層を挟在する。

砂岩および粘板岩層はいずれも黒緑色を呈し、その走向は N70°E で、北に 20～40° 傾斜している。

チャート層はやや灰白色味を帯びた黒緑色を呈し、その走向傾斜は前記のそれにほぼ一致している。

4. 放射能強度の測定結果

4.1 測定器および測定方法

使用した放射能測定器は株式会社日本無線医理工学研究所製の TCS-121 型シンチレーションカウンタで、岩石の露出面と計器をできるだけ密着させて測定した。自然計数は八幡浜市の旅館の一室において調査期間中朝夕測定し、その平均値 0.007 mR/h を自然計数とした。

また、計数比は野外における測定値と自然計数値との比でもって示した。

4.2 測定結果

今回の調査研究において測定した結果は第2図に示し、これを岩質別に整理した平均値は第1表のとおりである。

第1表 岩質別放射能強度（計数比）表

岩 質	計 数 比		計測数
	平均値	最低～最高	
砂 岩	1.4	1.1～1.7	15
粘 板 岩	1.6	1.2～1.9	18
チャート	1.5	1.3～1.7	12

5. 結 論

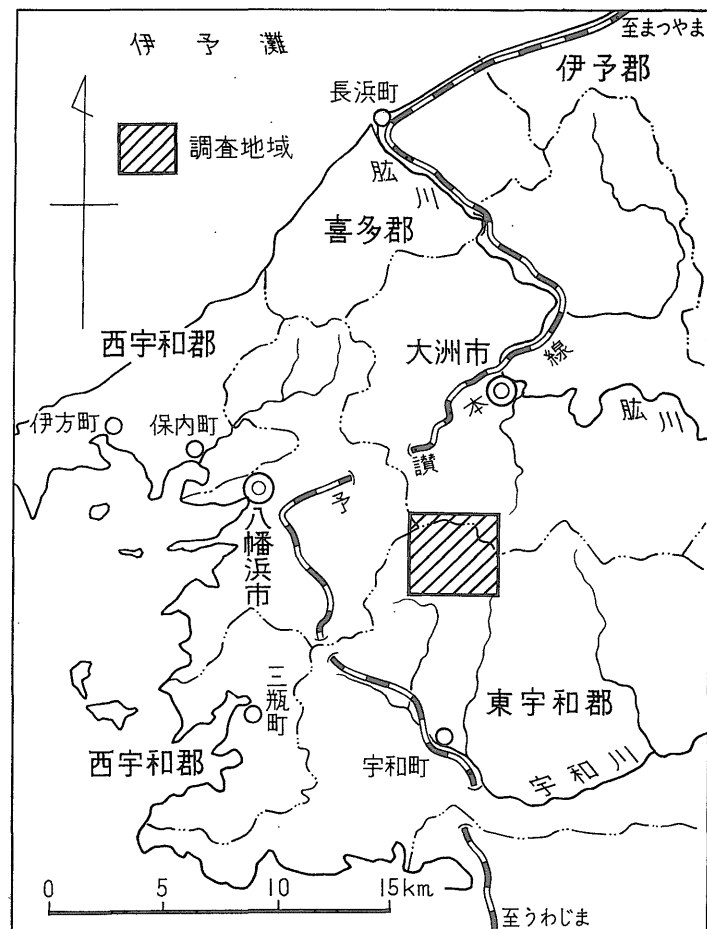
今回の調査地域においては著しい放射能の異常はみとめられなかった。

文 献

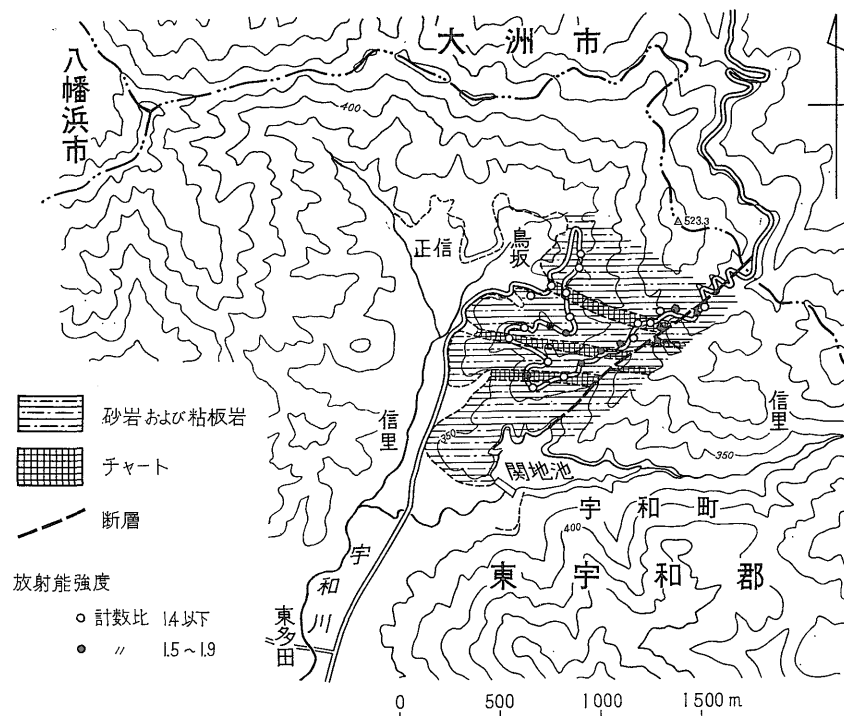
愛媛県（1962）：10万分の1地質図「愛媛県」。および同説明書。182p.,

* 四国出張所

30—(378)



第1図 位置図



第2図 愛媛県宇和町鳥坂地区の地質および放射能強度分布図